



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社ソラコム 上場取引所 東
 コード番号 147A URL http://soracom.com/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 玉川 憲
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 五十嵐 知子（TEL）050(1720)8147
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,670	—	102	—	99	—	44	—
2024年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △59百万円(—%) 2024年3月期中間期 ー百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	0.98	0.91
2024年3月期中間期	—	—

(注) 当社は、2024年3月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期中間期の数値及び2025年3月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	11,330	9,838	85.2
2024年3月期	10,917	8,404	75.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 9,649百万円 2024年3月期 8,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,912	25.0	925	27.2	913	43.0	686	41.3	15.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	45,129,416株	2024年3月期	43,220,809株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	44,839,947株	2024年3月期中間期	38,487,009株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

現在、あらゆるモノがインターネットにつながるIoT (Internet of Things) の活用が世界的に加速しております。IoTの導入によって労働力不足やサステナビリティといった様々な社会的な課題を解決することが望まれております。当社グループは「世界中のヒトとモノをつなげ、共鳴する社会へ」のビジョンのもと、IoT活用に必要な各種サービスをワンストップに提供する事業を展開してまいりました。また最近では、生成AIを活用したサービスに関する研究を進め、機能強化を行うなどサービスを深化させております。

当社は、最も顧客至上主義な会社として、IoTプラットフォーム「SORACOM」の利用によって、多くの企業が気軽にIoTを導入し、即時に大規模展開することが可能となる「テクノロジーの民主化」を実現し、社会をより良いものへ変革することを目指しております。

当中間連結会計期間の業績については、課金アカウント数(注1)やARPA(注2)が継続的に伸びたことにより、リカーリング収益(プラットフォーム利用料)が3,063,662千円と好調に推移しました。また、商品販売とその他の売上からなるインクリメンタル収益については606,339千円となりました。

当社グループは日本発のグローバルプラットフォームを目指しており、海外売上高の比率は47.9%となりました。

販売費及び一般管理費については、人材投資、イベント出展による広告宣伝やAI関連の研究開発など積極的な投資を行った結果、2,047,372千円となりました。また、営業外収益として、円高の影響による為替差益4,238千円(注3)を計上いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は3,670,002千円、営業利益は102,239千円(注4)、経常利益は99,802千円、親会社株主に帰属する中間純利益は44,122千円となりました。

(注1) 課金アカウント数は、1ヶ月の間にリカーリング収益が発生した口座数をいいます。同一の顧客企業等が部署や業務別に複数の口座を有する場合があります。

(注2) Average Revenue Per Accountの略称。1課金アカウントあたりの平均リカーリング収益を示す指標を意味します。

(注3) 営業外費用の為替差益は、主に在外子会社に対する債務の決済及び換算の際に円高の影響を受け、生じたものであります。

(注4) 営業利益に、株式報酬費用を足し戻したNon-GAAP営業利益は131,489千円であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比413,227千円増加の11,330,603千円となりました。これは主に、現金及び預金が2024年4月におけるオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行等により859,525千円増加した一方で、デバイス販売や業務受託案件等に係る債権回収により売掛金及び契約資産が690,552千円減少したことによりです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比1,020,464千円減少の1,492,470千円となりました。これは主に、デバイス仕入に係る債務の支払いにより買掛金が392,273千円減少したこと、リカーリング収益の前受額を売上認識したことにより契約負債が210,581千円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比1,433,692千円増加の9,838,133千円となりました。これは主に、2024年4月におけるオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行やストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ732,061千円増加したこと、当中間連結会計期間末における円高進行により為替換算調整勘定が103,666千円減少したことによるものです。

なお、新株予約権の増加29,113千円は、主に従業員に付与した新株予約権に係る株式報酬費用の計上によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)については8,556,770千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は242,063千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益を99,802千円計上したほか、デバイス販売や受託受託案件等に係る債権回収による売上債権の減少670,427千円があった一方で、デバイス仕入に係る債務の支払いによる仕入債務の減少391,531千円及びリカーリング収益の前受額を売上認識したことによる契約負債の減少194,910千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は235,036千円となりました。これは主にソフトウェアの開発に伴う無形固定資産の取得による支出129,874千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は1,413,372千円となりました。これは主にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行による収入1,284,956千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想については、概ね当初計画通りに推移していることから、通期の業績予想については、前回公表した内容から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,697,244	8,556,770
売掛金及び契約資産	1,738,045	1,047,492
商品	388,012	398,634
その他	272,684	295,846
貸倒引当金	△1,835	△2,450
流動資産合計	10,094,150	10,296,293
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	39,200	37,864
その他(純額)	57,404	48,699
有形固定資産合計	96,604	86,564
無形固定資産		
ソフトウェア	155,953	226,420
ソフトウェア仮勘定	59,621	68,597
その他	67,423	82,083
無形固定資産合計	282,997	377,101
投資その他の資産		
投資有価証券	198,302	248,302
繰延税金資産	94,176	129,835
その他	130,573	171,055
投資その他の資産合計	423,052	549,194
固定資産合計	802,654	1,012,860
繰延資産		
株式交付費	20,570	21,450
繰延資産合計	20,570	21,450
資産合計	10,917,376	11,330,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	579,099	186,825
リース債務	12,547	11,876
契約負債	972,145	761,563
製品保証引当金	320,149	183,324
賞与引当金	69,950	43,182
その他	507,857	259,664
流動負債合計	2,461,748	1,446,437
固定負債		
リース債務	12,626	5,962
資産除去債務	13,794	13,877
その他	24,765	26,192
固定負債合計	51,185	46,032
負債合計	2,512,934	1,492,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,004,762	2,736,824
資本剰余金	5,532,316	6,264,378
利益剰余金	502,341	546,463
株主資本合計	8,039,420	9,547,665
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	205,500	101,833
その他の包括利益累計額合計	205,500	101,833
新株予約権	159,519	188,633
純資産合計	8,404,441	9,838,133
負債純資産合計	10,917,376	11,330,603

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,670,002
売上原価	1,520,389
売上総利益	2,149,612
販売費及び一般管理費	2,047,372
営業利益	102,239
営業外収益	
受取利息	658
為替差益	4,238
営業外収益合計	4,897
営業外費用	
支払利息	2,046
上場関連費用	1,043
株式交付費	4,244
営業外費用合計	7,334
経常利益	99,802
税金等調整前中間純利益	99,802
法人税、住民税及び事業税	90,179
法人税等調整額	△34,499
法人税等合計	55,680
中間純利益	44,122
親会社株主に帰属する中間純利益	44,122

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	44,122
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△103,666
その他の包括利益合計	△103,666
中間包括利益	△59,544
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△59,544

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	99,802
減価償却費	52,617
貸倒引当金の増減額(△は減少)	615
受取利息	△658
支払利息	2,046
為替差損益(△は益)	6,806
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	670,427
棚卸資産の増減額(△は増加)	△22,804
仕入債務の増減額(△は減少)	△391,531
株式報酬費用	29,250
上場関連費用	1,043
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,767
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△136,824
契約負債の増減額(△は減少)	△194,910
前渡金の増減額(△は増加)	△32,352
その他	△243,922
小計	△187,162
利息及び配当金の受取額	757
利息の支払額	△194
法人税等の支払額	△55,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	△242,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,239
投資有価証券の取得による支出	△50,000
無形固定資産の取得による支出	△129,874
その他	△49,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	1,284,956
リース債務の返済による支出	△6,239
新株予約権の行使による株式の発行による収入	159,169
上場関連費用の支出	△24,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,413,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76,746
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	859,525
現金及び現金同等物の期首残高	7,697,244
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,556,770

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年3月26日付で東京証券取引所グロース市場に上場し、2024年4月24日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ652,129千円増加しております。

この結果、新株予約権(ストックオプション)の行使による増加も含めて、当中間連結会計期間末において、資本金が2,736,824千円、資本剰余金が6,264,378千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、IoTプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。